

「殺生石」物語考

物語の概略 ⑰

「暮目鳴弦」の修法の儀に欠席する理由を見え出せない玉藻前は、女官にかしずかれながら清涼殿に姿を見せた。紅梅の下着の上に、唐綾蘭繡錦の五つ襲、緋の袴を着し、長い黒髪に玉の冠を戴き、静々と出て来るさまは天女の来臨かと思われた。正に、一度微笑めば、国をも傾ける粧いである。

玉藻前は、壇上の泰親に、お前のその形相は、天皇の御惱平癒に名を借りて、実は、私を呪詛するためであろうと詰問した。公卿殿上人らは固唾を飲んで二人を見守った。泰親は言った。貴女に邪がないかぎり、少しも支障がないではないか、共に祈壇を拜し天皇の平癒を祈願せよ、それでこそ貞妃であろうと。そうして、弓と鏑矢を取り、「暮目鳴弦」の手法を始めようとした。玉藻前は、急に、血相を変えながらその場を去ろうとした。泰親は、この場はずで、天体の神々々

び日本国中の神々によって天地が凝縮された神域である。逃げるならば逃げおかせてみよ、こう、言葉浴びせた。玉藻前は動くことが出来ず、唯、檀を見あげた。

泰親は中央に額ずき、白い幣を手にして一心に呪文を唱えながら、暮目の弓矢を取り上げると、その弦を三度かき鳴らした。

すると、泰親の祈りにつれて、玉藻前の顔色が土のように変わり始めた。やがて、目は血走り身は震え、泰親を睨む白眼が不気味さを増した。するとこの時である、玉藻前が南東に向かつて、大きく、一息吐いた。と、突然魔風が吹き始め、黒雲が晴天を覆ったかと思うと、忽ち、雷鳴が轟き豪雨となった。しかし、魔風が吹き荒れる暗夜の中にもかかわらず、祭壇の数々の燈明は消えることなく赫々と輝き、泰親の呪文が肅々と続いた。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

農耕機止めし翁に声高く

ここが芭蕉の古道かと問いぬ

かつこう

緑が美しく一年の中で一番すがすがしい季節です。この最高な時季に町内の小中学校では運動会が開催され町長も子どもたちの活躍を見に応援に駆けつけました。普段なかなか見ることができない学校の様子。地域の大人たちにとっても全力で競技する子どもたちの姿は「元氣」をもらえる絶好の機会です。(高)



ゴールデンウィークが終わり、黒田原小学校の田植えの日。お決まりで数人の男子が転倒し泥だらけになるハプニングや、初めての体験に終始笑顔の子どもたち。この日、田植えに協力してくれた地域の方と保護者は40人。いち保護者として参加しながら、先生方やたくさんの人に子どもたちの活動は支えられていることを改めて感じた一日でした。本当に子どもたちのキラキラ笑顔は最高ですね！(米)

「絵本と自然を楽しむ会」の取材の日は、あいにくの雨でした。建物の中で取材で良かったと思いつながら、山元さんの写真絵本の話や新井さんの絵本の作り方の話を聞きました。梅雨の時季が始まります。雨が降ると憂鬱だなあと思う方もいるかもしれませんが、雨の音には癒しの効果があるそうです。雨の音に耳をすまして、お気に入りの音を探るとき、きつと気分は晴れやかです。(飯)

こんにちは

赤ちゃん



室越
あやな
彩奈
(本郷)

平成30年
8月1日生

父 渉さん 母 宏美さん

彩奈ちゃんは…

みんなのアイドル☆
毎日笑顔に癒されています。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(5月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,355世帯 (+50)
・人口 25,214人 (+20)
男 12,508人(+10) 女 12,706人(+10)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。